



《笑顔でチャレンジ!》

学校だより

上越市立下黒川小学校

第 14 号 (1 月号)

平成31年1月24日発行

<http://www.shimokuro.jorne.ed.jp/>



体操フェスティバルでは、《縄跳び・マット・鉄棒・跳び箱》4つの種目にそれぞれ挑戦し、披露しました。

子どもたちの笑顔輝く

《イキイキ体操フェスティバル》《心班対抗大縄大会》

校長 岩下 伸子

1月16日(水)、1日自由参観の折に、《イキイキ体操フェスティバル》を実施しました。あいにく、6年生はインフルエンザのため学年閉鎖でしたので、5年生は3・4年生と一緒に実施しました。大勢の保護者の皆様・祖父母の皆様に見守られながら、体育館で、堂々と自分が練習してきた技を披露しました(6年生は23日に実施しました)。

3学期が始まってすぐの、そして3連休明けの、たくさんの人が見てくださる中での《体操フェスティバル》。そのせいか、子どもたちは少し緊張していたようですが、いかがでしたでしょうか。

2学期から練習に取り組んでおり、担任や担当者の話では「2学期の方が上手にできていたかもしれない」とのことでした。うまくできたことやできなかったこともあったかもしれませんが、大勢の方から見ていただく中で技を披露することができ、子どもたちは《大満足!》でした。

ありがとうございました。来年度のフェスティバルもご期待ください。きっと技もバージョンアップしていることでしょう。

6年生の学年閉鎖により延期になった《心班対抗大縄大会》を、1月23日(水)25分休みに行いました。大縄を回す高学年の子どもたちは跳び手のことを考えながら丁寧に回し、跳び手の子どもたちは大きな声で回数を数え、そして、前の人と隙間を空けず、縄に入るタイミングを合わせながら、リズムカルに跳んでいました。途中で引っかかっても「ドンマイ!」「大丈夫!」と声を掛けながら跳んでいました。ほとんどの班が記録を更新しました。インフルエンザの流行などにより、練習できない期間もありましたが、その分、集中して本番に臨んでいました。

みんなで力を合わせ、1つ1つの行事を経験しながら子どもたちは成長していきます。

各学年の活動(生活科・総合)の紹介

1年生「あおぞら だいすき」

6月21日、かわいい白い子ヤギが入学してきました。1年生は5名。仲間が増えてにぎやかになりました。子どもたちで相談し、学年の愛称が「あおぞら学年」なので、「あおぞら」と名付けました。翌日から、さっそくお世話開始です。朝と昼休みの当番に分かれ、全員が毎日当番をしました。毎日毎日、小屋の中や外の掃除、餌やりや水替えと、みんなフル活動です。ブラッシングをしてあげると、動き回っていた「あおぞら」がじっとして、気持ちよさそうにすることも分かってきました。

困ったことは、土日や夏休みです。5名では、すぐに当番が回ってきて大変です。そこで、全校に呼び掛け、ボランティアを募集することにしました。子どもたちは手紙を書き、全校の前でもお願いをしました。すると、何人もの方がボランティアに名乗りを上げてくれました。それからの長い期間、ボランティアの人や家族と一緒に、一生懸命に世話をしました。「あおぞら」は食いしん坊で、いつ見ても餌箱に頭を突っ込んで餌をもりもり食べました。おかげでぐんと逞しく、強い体になりました。頭突きや突進、跳び付きも増え、怖く感じる時もあった子どももいましたが、互いに声を掛けて助け合い、やり通しました。

毎日の活動で、友達のがんばりに気付き、多くの人に助けられていることにも改めて感じる事ができました。「あおぞら」と過ごした経験は、1年生を少し大人にしてくれました。(担任 宮越 明子)



2年生「ぐんぐん育てね！ えがお畑の野菜たち」

「おいしい野菜を育てるぞ！」と意欲的な2年生。自分で決めた野菜を植えて、毎日お世話をがんばりました。ベランダではミニトマトも作りました。愛情をもって育てた野菜の味は格別です。収穫後は、みんなで「きゅうりパーティー・ピザパーティー」をしました。

また、収穫した野菜は家に持ち帰って料理してもらったり、夏休み中も自分の野菜で料理を作ったりと、野菜の味を楽しみました。

2学期は、大根と人参を作りました。寒い日も毎日畑に行き、生長を見守ってきました。愛情をもって育てた大根は、とても大きく育ちました。ふろふき大根やおでんを作って味わいました。野菜作りを通して、世話の大切さや収穫の喜びを学びました。

野菜作りは、自分たちだけでは難しいことがたくさんあり、多くの方から手伝ってもらいました。なかなか柔らかくならなかった畑の土を機械で耕して下さったり、苗を下さったりしたJAの方。うまくできない畝作りや苗植えを、手取り足取り教えて下さったおじいちゃん、おばあちゃん。一人1枚の看板を作ってく下さり、アドバイスを下さった用務員さん。また、野菜作り以外にも、自分たちは多くの方から手伝ってもらっていることを再認識しました。

そこで、感謝の気持ちを込めて、自分たちの作った野菜でおもてなしをする「感謝の会」を開きました。参加して下さった方は、皆さん喜んで下さり、子どもたちは、感謝の心を表す大切さを学びました。野菜とともに成長できた2年生です。(担任 西山 寿子)



5年生「Let's Enjoy 柿崎! ~柿崎 丸かじり~」

地域で農業を営まれている今井昭仁さんに教えていただきながら、田起こしから収穫までを体験しました。

また、社会科や家庭科の学習と関連させながら、田んぼの働きや日本の食料生産についても学んできました。学んでいく中で、米粉と出会い、米粉クッキングにも挑戦しました。

祖父母の皆様、保護者の皆様からも田植えや稲刈り等に、たくさんご協力をいただきました。ありがとうございました。

収穫祭では、柿崎の美味しいお米を存分に味わいました。

文化祭でのお米の販売では、いろいろなアイデアを出し合い、みんなで力を合わせて準備をしました。お米作りの活動を振り返って気付いたことから、視点ごとに分担をして、さらに調べたことをまとめました。そして、そこから生まれた「米粉をアピールしたい」という願いのもと、「米粉ホットケーキ」の試食作りに挑戦しました。

また、楽しんでもらおうと「くじ引き」も作りました。美味しい新米を食べてもらって買ってもらうために試食も準備しました。みんなで力を合わせた結果、12時前に米も米粉も完売しました。

自分たちの思いをもち、準備し行動した経験は、きっと次の活動の原動力になっていくと思います。今後は、柿崎の美味しい物をもっと探って、地産地消を進めるお店を訪ねたり、柿崎の魅力を追求したりしていきます。

(担任 石口 一美)



6年生「柿崎に学ぶ 人に学ぶ ~げんき学年パワーアップ大作戦~」

「地域・人に学ぼう!」をテーマに、地域の人とふれ合いながら、新しい発見をしたり、自分を見つめ直し目標をもったりしています。

1学期は、ライオンの創始者「小林富次郎」の菩提寺である光徳寺に行き、「堅忍遺慶の碑」を見学し、富次郎の生涯についてのお話を聞きました。富次郎が、忍耐強く何度も困難を乗り越えたこと、人を大切にする優しく強い人であったことを知りました。

その後、修学旅行で東京のライオン本社を訪問し、今も経営の基本や製品作りに富次郎の心が受け継がれていると感じ、子どもたちは「自分も、正直で思いやりのある強い人になりたい」などという思いをもちました。

また、中学校進学を前に、自分の将来について考える機会が増えてきました。そこで、身近な人からお話を聞く機会をもちました。

自分たちの学校生活を支えてくれている学校薬剤師の浅沼先生から、薬剤師の仕事のやりがいなどについてお話を伺いました。16ピースの仙田さん、地域おこし協力隊の小田切房子さんや吉井後援会長さんなどからは、子どもたちが気付いていない柿崎のよさ、地域のための活動などについてお話をいただきました。

16ピースの仙田さんから地域を盛り上げようという思いから始めた「黒川・黒岩ふれあい祭り」のお話を伺い、自分たちでも出店を担当し、地域の盛り上げに貢献したいと準備をしました。当日は地域の皆さんと交流しながら完売させ、達成感を味わいました。

様々な人とのふれ合いを通して、多くのことを学び、中学校や将来に向けて、やりたいことや思いがふくらんでいます。

(担任 高倉 明日)



《子どもたちの活躍》

- ★第13回「前島密とふれあう」ふれあいはがきコンクール
特別賞 4年1名
- ★いきいきわくわく科学賞2018
新潟日報社賞 6年1名
- ★上越信金絵画展
銀賞 4年1名 銅賞 1年1名
- ★ジュニア美術展(絵画の部)
奨励賞 2年1名 3年1名 4年1名 5年2名



大縄大会のために心班で練習をしてきました。2分間ずつ、2回跳びます。左表で、左側が1回目の回数、右側が2回目の回数です。

どの班も練習の成果を発揮し、初日に比べ、たくさん跳べるようになりました。全員、気合が入り、心が一つになると、一気に続けて跳ぶことができるようです。

学年閉鎖になった6年生は、「自分たちがいないと『大縄大会』は難しい。誰が縄を回すのかな？大丈夫かな？」と、心配だったのですが、延期という連絡を受け、ホッとしたそうです。

6年生が登校すると1～5年生の子どもたちもホッと一安心。

互いに相手を思いやるステキな姿を見ることができました。

《心班対抗「大縄大会」結果》

	A班	B班	C班	D班	E班
12/14	82/90	63/85	73/82	64/93	54/64
12/18	95/107	93/79	116/132	80/68	83/67
1/11	88/96	104/74	112/143	104/89	60/61
1/23	118/119	94/82	127/148	90/107	76/83

心班対抗「大縄大会」班長一言感想

- 《A》最初はなかなかうまく跳べなかったが、最終的に、みんなが引っかけからず連続で跳べて、良かった。みんな、上手になった。
- 《B》本番では、新記録は出せなかったけど、みんな一生懸命練習し、本番も一生懸命跳んでいて、絆が深まったと思う。とても良かった。
- 《C》今までにない記録が出せて良かった。本番では、掛け声も大きかったのも、成功したと思う。みんなで力を合わせてがんばった。
- 《D》初めのときよりは、低学年も跳べるようになった。練習をやるたびに跳んだ回数が増えていき、楽しかった。班長としても嬉しかった。
- 《E》練習で「こうやっていこう」と声を掛けると、みんなが気を付け、次からどんどん良くなっていった。本番では一番良かった。

ベネッセ「総合学力調査」実施

当校では、2月19日(火)に、(株)ベネッセコーポレーション「総合学力調査」(無料モニター)を実施することとしました。

ベネッセでは、次年度1学期実施の本調査における採点処理の事前分析のため、モニター募集をしており、上越市教委より案内があったので、応募しました。この調査は「活用力、論理的思考力の育成」に積極的に取り組んだものとして、一定の評価があるそうです。

上越市の全小中学校が実施しているNRT学力検査後の実施であり、1年間の学習のまとめとして取り組むことができます。全校で国語と算数の2教科に挑戦します。結果は3月29日(金)より、Webで閲覧可能とのことです。また、個人結果票は4月以降の返却となるそうです(卒業する6年生にもきちんと返却できるようにしたいと考えています)。

学力向上の観点から、取組へのご理解とご協力をお願いいたします。

TKB週間実施中

1月23日～29日、今年度最後のTKB週間です。

柿崎中学校区4校で取り組んでいるTKB週間。テレビを消し、ゲームや動画・メディア等からも離れ、集中して学習に取り組む習慣が身に付くといいいですね。

《良い習慣は一生の宝》と言われる。自主的・主体的に学習に取り組む習慣は、子どもたちの一生の《宝》となるはず。よろしく願いいたします。

第2回福祉の集い

2月21日(木)、「第2回福祉の集い」を行います。地域の皆様・保護者の皆様にご協力いただいたアルミ缶回収。今年度の収益金は約14万円。「よねやまの里」様に車いすを3台寄贈予定です。当日は、1年間の活動を振り返ります。保護者の皆様も是非、ご参観ください。

インフルエンザ・感染症流行予防

3学期早々あっという間にインフルエンザAが広がり、6年生は学年閉鎖の措置をとりました。罹患すると40℃前後の熱が出て苦しいそうです。インフルエンザ・感染症流行予防のため《早寝早起き・手洗いがいの励行・マスク着用登校》にご協力をお願いいたします。

学校では手洗いがい手消毒の励行と教室換気に取り組んでいます。1月21日の学校薬剤師による環境調査では各教室の湿度、CO₂等は異常なしでした。「お茶うがいをさせたい」という要望がありました。学校全体では取り組みませんが、持たせたいご家庭は持たせてください。